

第3回第4次千葉県住生活基本計画策定検討会議

議事要旨

日 時：令和4年3月22日（火） 10：00～11：40

場 所：WEB会議（千葉県庁中庁舎4階会議室）

参加者：鈴木委員、松井委員、森永委員、関委員、高橋（芳）委員、竹江委員、永島委員、

春日委員、小嶋委員、高橋（邦）委員

（敬称略、学識経験者、民間有識者、関係機関の分類別に五十音順）

□検討会議における主な意見

○鈴木会長挨拶

- ・前回対面で皆さんと議論させていただき、その際に次回はオンラインになるかもしれないと言ったとおりになってしまった。前は良い議論をさせていただいた。今回、パブリックコメントにかけられるような素案が示されたので、皆様と作り込んでいき、より良い計画としていくため、忌憚のない議論をお願いしたい。

(1) 前回会議の質疑回答

(2) 計画の概要

(3) 計画の素案について①（計画に掲げる基本的施策、成果指標）

【(1)、(2)、(3)についての意見交換】

○意見

- ・資料2の重視するテーマと地域別の方向性の関係性だが、地域別の方向性は、各地域の特徴を活かし、4つの重視するテーマが展開されていくものと考えている。その時に例えば、重視するテーマの「多様なライフスタイルの実現」は、南房総・外房ゾーンにしかなく、南房総・外房ゾーンの自然環境だけでなく、都市型の住居も提供できるということも千葉県の強みであるとする。また、自然災害においても台風被害は南房総などで多かったが、最近ではゲリラ豪雨など、都市部の排水機能も問題になっている。脱炭素社会については、印旛ゾーン、香取・東総ゾーンのみしか記載がなく、他のエリアではやらなくて良いのかといった誤解を招く恐れがある。地域別の方向性において重視するテーマのキーワードを入れてしまうと、入っていない地域は対応しなくていいのかということになるので、地域別の方向性では重視するテーマをそれぞれの地域で展開していくことが分かるような記載をお願いしたい。
- ・資料3目標1(1)③に「田園居住」とあり、よくわからなかったのを調べてみると、用途地域で「田園住居地域」というのが新しく設定されている。「田園居住」について施策の中身を見ると、二地域居住や移住・定住を促進していくものなので、施策の方向性としては、「移住・

定住や二地域居住に対する支援」の方がわかりやすいのではないかと。「田園居住」を特出ししているのでは何か意図があるかもしれないが、検討してほしい。

- ・資料3目標6(2)②「住宅リフォーム環境の整備」において、基本的施策で推進主体の名称が出ているが、推進主体には子育てリフォームや耐震改修、高齢者住宅のリフォームなどにも関わってもらった方が効果的だと思うので、そういった関係性が分かるような記載が望ましい。
- ・固有名詞を使わないで「多様な主体」など一般的な言い方をしておく方が良いのではないかと。
- ・成果指標について、具体の数値が設定されているところとそうでないところがある。具体的数値が設定するのが難しい項目もあると思うが、「⑤急傾斜地崩壊危険箇所解消」は総合戦略との整合があるかと思うが、具体的な数値が設定できない理由があれば教えてほしい。

(4) 計画の素案について②(地域別の方向性、効果的な施策の展開、ほか)

【(4) についての意見交換】

- ・資料5の地域別の方向性については、資料2にある重視するテーマをそれぞれの地域でどのように展開していくかが重要なので、テーマについての記載がなかったり、弱い部分など見受けられるので、記載漏れのないようにしてほしい。例えば、九十九里ゾーンでは東日本大震災の際に津波で亡くなった方もいるので、津波対策がなくても良いのかといった地域の特性をよく踏まえ、重視するテーマを実現するような記載としてほしい。
- ・資料5の46ページにある「地域特性を踏まえた6つのゾーン」の図だが、南房総・外房ゾーンの太平洋側の鴨川や勝浦周辺には流れを示す矢印がなく、少し寂しい感じがする。房総スカイラインや鴨川有料道路など現実の流れもあるので、そこに矢印を加えるか、もしくは銚子連絡道路はまだ途中までしか開通していないが矢印が入っていることと同じように考えれば、長生グリーンラインは途中までしか矢印がきていないが、計画では南まで延伸するようになっているので、そこを表現してもよいと思う。このままの図だと、鴨川や勝浦周辺は交通空白地域または人・モノ・財の流れがないように思われるので配慮が必要だと思う。
- ・各ゾーンの書きぶりは再検討いただくことと、ゾーンの図は総合計画で書かれているのでどうしようもないのか。
- ・成田空港の機能強化についての対応が少し弱い気がする。供用開始が2028年なのでこの計画期間内に第三滑走路が開通し、空港内従業員だけでも27,000人の増加が見込まれ、その受け皿としての住宅整備が必要になり、既に開発が進んでいる。それらに対して乱開発にならないような記載が必要だと思う。それと同時に空き家対策も必要なので、空き家対策と同時に新規供給を行っていくことに対する記載があるとよい。
- ・資料5の51ページに「大規模団地においては、屋上や空きスペースを活用した太陽光パネルの設置」とあるが、古い団地だと積載荷重の関係で技術的に屋上にはパネルを設置できないものもあると思われる。
- ・資料5の1ページ目にある「地域特性を踏まえた6つのゾーン」の図だが、市川市あたりに矢印が集中しているが何か意図があるのか。
現状に沿っているところもあるし、意図がわからない矢印もあるので確認してほしい。

- ・資料6の市町村との連携についてだが、市町村においては住宅施策を展開する住宅課がないところもあるので、どの部署と連携していくかを県として把握しているのか。
- ・住宅課がなく、住宅施策を推進する上で人員を割けないなど非常に弱い自治体もあるので、その辺をフォローできるとよい。

□今後のスケジュール

第4回は最後になるが、6月下旬を予定している。次回では、パブリックコメントや市町村協議を踏まえた計画の案として提示する。書面開催を予定している。